

## 令和 7 年度第 2 回理事会開催

### －賦課金等の 10%減額請求措置、8 年度も継続－

当協会令和 7 年度第 2 回理事会が去る 10 月 23 日、KKR ホテル東京において開催された。福島会長が海外出張中につき、規約に基づき鈴木副会長が会長の職務を代行することが説明され、あいさつを行った後、議長に就任して審議が行われた結果、上程された各議案はすべて原案通り承認された。

**第 1 号議案『令和 7 年度上半期業務報告、収支計算報告について』**(1) 東京港における 7 年度上半期の輸入貨物の取扱数量は 1,031 千トン（検査・重量ベース）、前年同期比 2.4%の増加であった。本船貨物では、果実の主力であるバナナが前年同期比 1.7%の減少、パイナップルは 14.8%の増加、キウイフルーツは 11.8%の減少、トルコ産かんきつ類が 139 千 CT 輸入された。本船コムギは 2.1%の増加となった。一方、コンテナ貨物は 970 本増加し、40,291 本だった。主な品目の増減として、こく類は、コメが 1,531 本増加、ソバが 128 本減少した。まめ類は、ダイズが 857 本減少した。こく類・まめ類全体で 280 本増加した。乾牧草は、ほとんどの品目が減少し、全体で 576 本減少した。野菜類は前年同期比 114.3%で 7,792 本であった。主力品目であるタマネギが 157 本増加の 2,750 本、キャベツが 333 本増加、ハクサイが 139 本増加、ショウガが 93 本増加した。果実は前年同期比 106.6%で 4,568 本だった。かんきつ類が 132 本減少、バナナが 284 本増加、パイナップルが 83 本減少、キウイフルーツが 86 本減少、リンゴが 138 本増加した。嗜好香辛料・薬染料には大きな増減は無かった。横浜港からの荷受消毒立会件数が 5 件減少し 173 件であった。輸出入木材こん包材消毒証明件数は 701 件で、前年同期から 164 件増加した。(2) 平成 25 年 6 月から賦課金、立会料の減額率を 20%にした減額請求措置を、令和 3 年 6 月 1 日検査分から減額率を 10%に変更した。本年度の上半期の同収入は 8,743 万円（減額の金額 950 万円）と前年同期比 2.4%増で、通年予算の 55.8%となった。(3) 広報活動は、定期的に配信される「東京植検だより」や植物防疫所、全植検協の機関誌をはじめ、関連のポスターやパンフレットなどを配布したほか、様々な検疫情報、現場情報をホームページ等により広く関係者に提供した。また、日頃各地から寄せられる問い合わせ、相談などに適切に対応するなど東京港における植物検疫業務等が円滑、的確、かつ安全に推進されるよう努めた。(4) 関係当局及び諸団体との連絡・協調を図り、特に全植検協について

は、福島会長が理事・副会長として、また事務局においても各種委員として、同協会の運営に協力した。また農水省植物防疫課も参加する「植物検疫関係団体連絡会」において検疫現場の状況を報告し、問題点を提起するとともに、検疫情報を直接入手した。さらに、近在協会とも定期的に連絡会を開き、意見・情報交換などに努めた。一など上半期の主要事項と収支状況について報告が行われ、本案は異議無く承認された。

**第 2 号議案『賦課金等の減額請求措置の令和 7 年度の取扱いについて』**(1) 賦課金等の減額請求措置については、秋の理事会で翌年度の取扱いについて協議することとなっている。(2) 令和 7 年度上半期の取扱業務量は、第 1 号議案で報告したとおり前年同期比 2.4%増だった。上半期の賦課金等収入は、本船貨物は 1.8%増、主力のコンテナ貨物は、前年より 2.9%増加していて、通年予算に対して 55.8%の達成率となっている。これは気候変動による、気温の上昇、干ばつや集中豪雨などの異常気象によって、コメや野菜の生育不良や品質低下、収穫量の減少による緊急輸入的なところが大きい。(3) 今年度については上期の状態がこのまま続くとしたら、賦課金等収入は当初予算よりも 18 百万円ほど増加すると思われる。支出についても特段のことが無い限り、数百万円程度の節減が可能と考える。その場合、最終的な決算は当初の 2,200 万円の赤字から、500 万円程度の黒字になることも想定され、その場合の繰越剰余金は 167 百万円程度が見込まれる。(4) このため、令和 8 年度については、賦課金等の減額率 10%を継続することを提案したい。(5) なお、フレートの高騰、極端な円安、産地価格の高騰、国産への転換奨励等々、輸入植物に対する逆風は強く、輸入貨物は全国的に減少傾向にある品目は多い。これを踏まえると、昨年度から今年度上期の増加は一時的なものである可能性が高く、今後は輸入量の減少が続くものと思われる。一方で支出については人件費を始め、IT 関連の経費等も増加することが想定される。このため、今後とも適宜、収支について注視し、減額請求措置の継続の適否を判断していく必要がある。

**第 3 号議案『副会長の 3 人体制について』**(1) 昨年 5 月の第 1 回理事会において、会長就任への負担を軽減する方策として、次期会長就任予定者には、役員任期 2 年のうち 1 年目に副会長、2 年目に会長に就任していただくことが承認された。(2) 輪番制により、三菱商事株式会

社の理事に今年5月の第1回理事会において副会長への就任をお願いしていたが、社内での了解が得られなかった。(3)引き続き三菱商事株式会社の理事に就任をお願いしていたが、社の方針とのことで9月30日付で、三菱商事株式会社の弊会理事の辞任届が提出された。(4)については、本日の理事会において、次の順番の丸紅株式会社・出塚理事を副会長に選任し、11月1日から来年の通常総会まで就任していただくことの承認を得たいと提案し、本案は異議無く承認された。

**第4号議案『専務理事の交代について』**(1)小野専務理事は、昨年12月に67才となり、当協会の「常勤役員の定年(65才)」を超えているが、これまでの理事会にて「後任の選任及び折衝については会長に一任し、当面の間は同専務理事にその職を継続させる」となっていた。(2)この度、後任候補者として本年3月に神戸植物防疫所長を退職した岡辰男氏を選任し折衝した結果、当協会への就職の内諾を得て、7月1日付で「総務グループ参与」として採用した。(3)については、本日の理事会において「11月1日から小野の後任として岡氏を理事とし、同日に専務理事として選任する。」ことの承認を得たい。なお、岡氏の専務理事としての報酬額は、年額840万円とする。(4)以上の手続きの上、小野専務理事は10月31日付で退任させ、11月1日付で「顧問」を委嘱し、その任期については、会長に一任することとしたい。との説明が事務局からなされ、異議無く承認された。

**第5号議案『小野専務理事の退職慰労金について』**  
小野仁氏は10月31日付けをもって、専務理事を退任することとなっている。同氏は平成30年8月に当協会に入り同年11月1日に専務理事に就任し、以来7年3ヶ月に亘って事務局を取りまとめ、指揮し、各代の会長の補佐役として活躍された。特にその間、財政面の中長期的安定化並びに会長の職務の負担軽減案の作成等、協会運営の健全化を図り、またコロナ蔓延時には感染防止策を徹底し、業務を継続させる等、安定的な協会運営に尽力された。また植物防疫所とのパイプ役として検疫関連情報のいち早い入手や、業界に配慮した措置を実現させる等、協会会員並びに関係業界への功績は大である。よってそ

の功労に対し、退職慰労金を支給することとしたい。

(注)支給額は「職員退職金支給規定」の支給額を準用。との説明が事務局よりなされ、異議無く承認された。

その他として議長から、令和8年賀詞交歓会について、1月9日(金)12時30分から当KKRホテル東京で開催予定。後日改めて案内をお送りする旨連絡された。

### 植物検疫くん蒸安全旬間を実施

11月1日から11月10日の期間で令和7年度植物検疫くん蒸安全旬間を実施した。本旬間は期間中に植物検疫くん蒸に携わるくん蒸施設、防除業者、当協会の三者で自主的な安全点検期間として実施しているものである。

当協会では安全旬間に先立ち、安全旬間期間中の啓発用ポスターの関係者への配布と掲示の依頼、協会職員が検査対象貨物の残留ガスの安全確認をする際に使用する北川式検知器具の点検・メンテナンスを業者に依頼し、保護具着用管理責任者が使用するガスマスクの点検とガス吸収缶の交換を行った。

植物防疫所が指定するくん蒸施設については安全旬間期間中に協会職員と防除業者で訪問し、施設の安全対策の確認、担当者の変更の有無や設備の不具合、設備工事の予定確認を行った。

施設訪問に際しては、横浜植物防疫所東京支所の防疫官に全ての施設に同伴していただき、オブザーバーとして安全対策に関するアドバイス等、ご協力いただいた。

安全旬間終了後に防除業者と協会で総括を行い、旬間期間中に点検した内容や施設訪問時に実施したアドバイス等を共有し、安全対策に活かすことを確認した。

輸入者の皆様におかれましては、コンテナ内で航海途上に貨物のくん蒸を実施されている場合には、事前に協会へのご連絡をしていただきますようお願い致します。

(業務グループ 大西 洋)

### 東京植物検疫協会事務局人事

○11月1日付

専務理事 岡 辰 男 (前任者:小 野 仁)

顧 問 小 野 仁

### 会 員 ・ 役 員 の 異 動 (令和7年7月1日～令和7年9月30日)

☆入会会員

7月24日(株) リ ベ ト 商 事 [商社] 〒372-0827 群馬県伊勢崎市八斗島町1597-2 ☎080 (3393) 2846

☆社名変更

9月2日(株) S A N T S U ← 三 通 国 際 商 事 (株)

☆退会会員

8月18日 八 洲 港 運 (株)

8月31日(株)ネクスト・クリエーション、翔 和 商 事 (株)、(有) A & F J A P A N

☆交代役員

7月1日 理 事 北 原 広 記 株 式 会 社 三 協 (前任者:塩 田 寛 史)

☆辞任役員

9月30日 理 事 雲 井 健 司 三 菱 商 事 株 式 会 社

## くん蒸安全旬間ポスター図案決まる

(一社) 全国植物検疫協会が毎年実施している、植物検疫くん蒸安全旬間ポスター図案選考会が、去る 9 月 11 日に同協会会議室で開催された。

全植検協の選考委員にくわえて、農水省担当官及びポスター印刷会社のデザイナーにより、全国の植物検疫(防疫)協会、防除業者の職員が応募した 110 点にのぼる作品について、厳正な審査が行われた。

その結果、最優秀賞には、関東燻蒸(株)・野上昂氏の作品が選ばれ、例年通り 11 月 1 日から 10 日まで実施される植物検疫くん蒸安全旬間の PR 用ポスターとして、全国の関係者に配布されることになった。

なお、当協会からは 10 点応募し、次の作品が入賞した。

- 入選 人見 哲也 (業務グループ)
- 入選 新藤 尋人 (業務グループ)

## 第 7 次 NACCS 稼働開始と ePhyto の試験運用始まる

10 月 12 日午前 5 時より、第 7 次 NACCS の稼働が始まり、それに伴い植物検疫業務の機能の一部に追加・変更が行われることとなった。今回の大きな変更点は電子植物検疫証明書 (electronic phytosanitary certificate) = 「ePhyto」制度が導入され、第 7 次 NACCS に機能が実装されたことである。ePhyto は植物検疫証明書の電子版 (XML 形式) とされ、合意した二国間で電子的に送受信される植物検疫証明書である。従来の紙による証明書は郵送等で輸出者から輸入者を経て植物防疫所に提出されているが、ePhyto においては国際植物防疫条約 (IPPC) の専用 HUB を通じ、検疫機関同士でのやりとりとなる。これにより、合意した国家間においては紙による発行の必要性が無くなることとなり、証明書の遅延や紛失、偽造の防止などのメリットがある (ePhyto 導入後でも紙で発給された証明書による対応も継続される)。

第 7 次 NACCS 稼働後、輸出入で ePhyto の試験運用が始まり、令和 8 年 3 月からの本格運用を目指す。試験運用は 10 月 14 日以降に発給された米国と韓国の 2 カ国の ePhyto から開始され、12 月 1 日発給分からはチリとアルゼンチンも試験運用対象国として追加される。試験運用期間中は ePhyto だけでは植物検疫の受検は出来ず、従来の紙による証明書の原本提出が必須 (輸出国の確認システムで真正性を確認できる国については証明書の写しでも可) となるため、特に注意が必要である (輸出では日本側が ePhyto と証明書の両方を発給)。また、ePhyto は試験運用、本格運用を問わず、NACCS を利用した申請のみで利用可能で、書面による申請では利用できないことも留意されたい。

ePhyto の詳しい内容等については植物防疫所 HP 内

(<https://www.maff.go.jp/pps/j/law/denmado/naccs7t>

h2025.html) にてご確認をお願い致します。

(業務グループ 大西 洋)

## タイム eye

## 業務グループ ミャンマー産生鮮タマネギ初輸入

7 月 28 日、“NYK ORION”号で、ミャンマー産のタマネギ鱗茎が東京港において初輸入され、検査の結果は合格となった。(写真)



ミャンマー産のタマネギ鱗茎は、輸入条件として特別な規制などはないが、申請時に輸出国政府機関が発給する検査証明書 (Phytosanitary Certificate) を添付して、輸入検査を受ける必要がある。

植物検疫統計によると、東京港におけるタマネギ鱗茎の昨年の輸入量は 12 万 6 千トンである。中国、ニュージーランド、オランダ、米国、タイ、オーストラリアの 6 カ国から輸入されているが、そのうち中国産が 12 万 1 千トンと全体の 9 割以上を占めている。中国からは皮を剥いた状態で輸入されるのが一般的で、主に業務用として使用されるが、今回のミャンマー産は皮が付いたままの輸入であった。

国産と比べるとミャンマー産の方が皮の赤みがやや強い印象を受ける。タマネギの皮の色はケルセチンというポリフェノールの一種の色素によって生成され、乾燥されることによってその保存性を高めることができる。

そもそもタマネギの「鱗茎」とは普段スーパーで見かけるタマネギそのもののことを指すが、実はこの部分は葉っぱに当たる。正式には「葉鞘 (ようしょう)」と呼ばれ、葉っぱの根元が成長して膨らみ、重なり合って球体となる。その一枚一枚が魚の鱗のように見えることから「鱗茎」と呼ばれる。

しかしながら、タマネギは国産が豊富であるため、輸入は国内で出回る全体量の 2 割程度にとどまっている。もし国産以外のタマネギを街で見かけるようなことがあれば、ぜひ手にとっていただき、国ごとの風味や食感の違いを比べてみてはいかがだろうか。

(業務グループ 新藤 尋人)

## 東京港輸入植物品目別統計表

(4月～9月累計)

品 目	単 位	コ ン テ ナ 詰			在 来 船 積		合 計	
		本 数	検 査 数 量	不 合 格 数 量	検 査 数 量	不 合 格 数 量	検 査 数 量	不 合 格 数 量
栽植用植物	個	47	155,080,786	3,003	0	0	155,080,786	3,003
栽植用球根類	個	46	9,708,870	0	0	0	9,708,870	0
アマリリス	個	0	0	0	0	0	0	0
チューリップ	個	0	0	0	0	0	0	0
ユリ	個	45	9,211,870	0	0	0	9,211,870	0
栽植用種子	kg	160	1,742,613	0	0	0	1,742,613	0
草花・樹木	個	1	8,998	0	0	0	8,998	0
野菜	個	86	471,283	0	0	0	471,283	0
普通・特用作物	個	6	72,400	0	0	0	72,400	0
牧草・芝草	個	56	1,109,913	0	0	0	1,109,913	0
切花、切葉、切枝	個	1,384	201,141,343	105,712	0	0	201,141,343	105,712
アンズリューム	個	0	0	0	0	0	0	0
オンシジューム	個	44	1,837,865	101,130	0	0	1,837,865	101,130
キク	個	900	96,893,384	0	0	0	96,893,384	0
シダ(レザーフアン)	個	55	9,373,700	0	0	0	9,373,700	0
果 実	kg	4,569	78,921,493	2,715,486	159,080,112	107,287,594	238,001,605	110,003,080
オレンジ	kg	237	4,482,378	0	0	0	4,482,378	0
グレープフルーツ	kg	115	2,478,562	0	289,744	0	2,768,306	0
タンジェロ(ミネオラ)	kg	40	442,071	0	0	0	442,071	0
レモン	kg	118	1,966,566	0	145,224	0	2,111,790	0
パイナップル	kg	540	8,166,202	957,561	14,218,414	11,341,413	22,384,616	12,298,974
バナナ	kg	1,540	26,682,277	1,757,925	117,171,293	95,946,181	143,853,570	97,704,106
マンゴウ	kg	25	97,040	0	0	0	97,040	0
キーウイフルーツ	kg	451	8,099,214	0	25,509,592	0	33,608,806	0
ブドウ	kg	77	1,125,799	0	0	0	1,125,799	0
野 菜	kg	7,791	159,429,323	460,637	5,808	0	159,435,131	460,637
カボチャ	kg	204	4,783,258	322,200	0	0	4,783,258	322,200
サヤエンドウ(キヌサヤ)	kg	3	33,271	0	0	0	33,271	0
パプリカ	kg	21	157,075	0	0	0	157,075	0
メロン(ハミウリ含む)	kg	37	676,072	18,289	0	0	676,072	18,289
キャベツ	kg	403	8,464,883	0	0	0	8,464,883	0
セロリ	kg	8	111,223	14,515	0	0	111,223	14,515
ナガネギ	kg	1,032	15,772,885	14,000	0	0	15,772,885	14,000
ニンニクの芽	kg	19	736,469	0	0	0	736,469	0
ハクサイ	kg	139	2,578,250	18,480	0	0	2,578,250	18,480
ブロッコリー	kg	56	654,800	0	0	0	654,800	0
レタス	kg	34	403,804	0	0	0	403,804	0
タマネギ	kg	2,750	67,086,481	49,600	0	0	67,086,481	49,600
ニンニク	kg	369	6,551,112	0	0	0	6,551,112	0
アスパラガス	kg	0	0	0	0	0	0	0
ゴボウ	kg	141	3,874,240	0	0	0	3,874,240	0
サトイモ	kg	9	185,690	0	0	0	185,690	0
ショウガ	kg	232	4,972,692	0	0	0	4,972,692	0
ニンジン	kg	822	21,155,950	0	0	0	21,155,950	0
こく類	kg	6,297	134,595,191	2,250	64,973,774	0	199,568,965	2,250
オオムギ	kg	27	536,032	0	0	0	536,032	0
エンバク	kg	198	4,492,273	0	0	0	4,492,273	0
コムギ	kg	90	1,610,772	0	64,973,774	0	66,584,546	0
コメ	kg	2,771	56,936,538	2,250	0	0	56,936,538	2,250
ソバ	kg	97	1,982,418	0	0	0	1,982,418	0
トウモロコシ	kg	148	2,707,003	0	0	0	2,707,003	0
モルト	kg	2,889	64,848,125	0	0	0	64,848,125	0
まめ類	kg	3,941	78,940,574	432,000	0	0	78,940,574	432,000
エンドウ	kg	19	409,024	0	0	0	409,024	0
ダイズ	kg	3,647	72,960,685	432,000	0	0	72,960,685	432,000
ラッカセイ	kg	139	3,067,480	0	0	0	3,067,480	0
嗜好香辛、薬染料、その他食品	kg	2,361	37,977,407	3,200	0	0	37,977,407	3,200
カカオ	kg	13	29,828	0	0	0	29,828	0
コーヒー	kg	63	804,708	0	0	0	804,708	0
タバコ	kg	482	8,893,400	0	0	0	8,893,400	0
アーモンド	kg	652	11,698,959	0	0	0	11,698,959	0
クリ	kg	6	74,520	0	0	0	74,520	0
クルミ	kg	285	4,885,154	3,200	0	0	4,885,154	3,200
ポップコーン	kg	193	3,858,163	0	0	0	3,858,163	0
油料、肥飼料、その他雑品	kg	13,695	315,308,481	0	0	0	315,308,481	0
乾燥牧草(ヘイ)	kg	10,104	238,799,490	0	0	0	238,799,490	0
アニマルフィード	kg	9	125,273	0	0	0	125,273	0
アルファルファヘイキューブ・ペレット	kg	639	15,936,059	0	0	0	15,936,059	0
コーンコブミール	kg	18	430,055	0	0	0	430,055	0
飼料用大豆カス、ペレット	kg	285	6,874,489	0	0	0	6,874,489	0
ビートパルプペレット	kg	116	2,733,844	0	0	0	2,733,844	0
イネワラ	kg	151	2,430,315	0	0	0	2,430,315	0
ココピート	kg	320	6,073,532	0	0	0	6,073,532	0
ココヤシ園芸資材	kg	12	259,669	0	0	0	259,669	0
ビートモス	kg	849	19,198,293	0	0	0	19,198,293	0
ミズゴケ	kg	26	49,068	0	0	0	49,068	0
タケ	kg	20	234,706	0	0	0	234,706	0
木 材	m3	0	0	0	0	0	0	0
＊ ＊ 総 合 計 ＊ ＊	kg	38,814	806,915,082	3,613,573	224,059,694	107,287,594	1,030,974,776	110,901,167
	個	1,477	365,930,999	108,715	0	0	365,930,999	108,715
	m3	0	0	0	0	0	0	0

注) 主要品目のみ掲載。携帯品、郵便物及び他港からの荷受分は含まない。